



ザヴァケファレ・リンボチェの
骨格レプリカ、生体復元模型

【骨格レプリカ】ザヴァケファレ・リンボチェの実物化石で不足している部位を、近縁種の恐竜を参考に補ったデータを元に金物制作を行う瑞光工房(埼玉県)が制作した鉄骨を軸に、3Dプリンターで作った骨をつなげている。ザヴァケファレは丸く盛り上がったドーム状の頭が特徴で、骨格レプリカでは頭の形を観察できる。

【生体復元模型】ザヴァケファレ・リンボチェの生体復元模型を「アップ・アート」(川崎市)でスタジオ制作した。ザヴァケファレの頭の形から、コミュニケーション手段の一つとして頭突きをしていた可能性があるため、生体復元模型では2体のザヴァケファレが頭突きをしている様子を再現する。

生体復元模型の調整をする吉田学芸員



講演会のご案内

会期中には右記に記載がない様々な講演会やイベントを予定しております。詳しくは公式ホームページをご覧ください。

各講演会の申し込みは約1カ月前から開始します。
講演会を聴講するには大恐竜展のチケット、または半券の提示が必要となります。

7.11土	福島県立博物館	講堂	モンゴル科学アカデミー古生物学研究所 所長 バダムハタン・ゾリグ 氏		
7.19日	会津大学	講堂	国立科学博物館 館長 真鍋 真 氏	北海道大学 教授 小林 快次 氏	福島県立博物館 吉田 純輝 学芸員
7.25土	福島県立博物館	講堂	筑波大学 准教授 田中 康平 氏		
8.9日	福島県立博物館	講堂	東京大学大学院 准教授 平沢 達矢 氏		
8.15土	福島県立博物館	講堂	岡山理科大学 助教 高崎 竜司 氏	オンライン中継	
8.21金	福島県立博物館	講堂	北九州市立いのちのたび博物館 学芸員 大橋 智之 氏		
9.19土	福島県立博物館	講堂	福島県立博物館 猪瀬 弘瑛 学芸員		
9.20日	福島県立博物館	講堂	福島県立博物館 吉田 純輝 学芸員		

アクセス



〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25
JR会津若松駅より約3km

バス..... まちなか周遊バス「ハイカラさん」にて約20分
「三の丸口」下車すぐ
まちなか周遊バス「あかべえ」にて約30分
「三の丸口」下車すぐ
タクシー..... タクシーで約10分

駐車場の案内は公式ホームページをご覧ください。

料金	一般・大学生	平日※1	1,700(1,500)円	平日チケットで土日祝・指定日に観覧される場合は差額をお支払いいただきます。 土日祝・指定日チケットで平日に観覧される場合には差額の返金はされません。
		土日※2	2,000(1,700)円	
高校生		平日※1	1,000(800)円	※1 () は前売り/団体料金 ※2 料金の土日とは、土日祝と指定日(8月10日、12日～14日) ・福島県立博物館の年間パスポートで大恐竜展の観覧はできません。 ・各種手帳(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳)をお持ちの方と付き添い1名は無料です。入場時に手帳(ミライロID可)をご提示ください。 ・未就学児は無料です。必ず保護者の方と同伴でご入場ください。 ・保護者の方は必ず観覧券をご購入ください。
		土日※2	1,200(1,000)円	
小・中学生		平日※1	500(400)円	
		土日※2	600(500)円	

お問い合わせ：福島民友新聞社事業部 電話：024-523-1334 (平日10時～16時) メールアドレス：dinosaur@minyu.jp

公式ホームページ



世界初公開！

新発見の堅頭竜類

ザヴァケファレ



福島県政150周年・
福島県立博物館 開館40周年記念特別展



開館40周年
40th ANNIVERSARY



大恐竜展

題字：千葉清監
©Masato Hattori

会期：2026 7.11土 >>> 9.23水・祝

会場：福島県立博物館（会津若松市）

休館日：月曜日(7月20日、8月10日、9月21日を除く)、7月21日
開館時間：9時30分～17時(夜間開館日は19時まで)
夜間開館日：7月18日から毎週土曜日、7月19日、31日、8月7日、
9日～14日、21日、28日、9月20日～22日

主催：大恐竜展実行委員会(福島民友新聞社・福島中央テレビ・福島県立博物館)

企画：福島県立博物館、中央宣伝企画

協賛 JA 共済連福島、東北電力福島支店、一般財団法人ふくしま未来研究会、株式会社エフコム、株式会社グリーセス、株式会社第一印刷

後援 在モンゴル日本国大使館、福島県、福島県教育委員会、いわき市、会津若松市、会津若松市教育委員会、南相馬市、広野町、
福島県小学校長会、福島県中学校長会、福島県高等学校長会、読売新聞社

ブレイガイド：公式オンラインチケット、ローソンチケット、チケットぴあ、JRE MALL チケット

【前売りのみ】會津風雅堂、うすい百貨店、藤崎百貨店(仙台市)、福島民友新聞社本社(平日10時～16時)、福島民友新聞販売店

お得な《前売り券》販売中！
7月10日まで

世界最古の
頭突き恐竜
日本に現る



2019年、モンゴルのゴビ砂漠で頭突き恐竜で知られるバキケファロサウルス類の新属新種となる堅頭竜類（けんとうりゅうるい）が発見されました。この恐竜は「ドーム頭の恐竜の起源にして、尊い宝」を意味する「ザヴァケファレ・リンポチェ」と名付けました。また、2005年にモンゴルで発見されたピナコサウルスから、2023年に世界で初めて「喉（のど）」の化石が発見されました。展覧会では、この大発見であるザヴァケファレや、ピナコサウルスの「喉」の化石など、世界初公開となる化石を中心に展示します。「ジュラ紀の終わり」や「白亜紀の幕開け」、「新種恐竜の発見」などを8章立てで紹介していきます。

1章 プロローグ、2章 ジュラ紀の終わり、3章 白亜紀の幕開け、4章 新種恐竜の発見、5章 白亜紀の多様性、6章 恐竜の社会、7章 現代の恐竜－鳥類、8章 発掘調査の今

世界初公開の化石たち

展覧会では、多くの世界初公開の化石が目玉です。恐竜研究の大きな進歩につながる恐竜たちを紹介します。

世界初公開！ザヴァケファレ・リンポチェ

本企画展において、大きな見どころである「ザヴァケファレ」。ザヴァケファレは、最古の堅頭竜類恐竜で、前期白亜紀の後期に生息していました。

ドーム型の頭を使い、繁殖の相手を巡る闘争などの社会的コミュニケーションをしていた可能性が出てきました。2019年に福島県立博物館の吉田純輝学芸員らの研究チームがモンゴルで発掘し、研究成果はイギリスの総合科学学術雑誌ネイチャーに掲載されました。発見された化石はまだ1体ですが、生態をさらに理解する手がかりとして、今後の追加発見も期待されています。



ザヴァケファレ発掘メンバーの集合写真
(撮影：チンゾリグ・ツォクトバートル)



© 服部雅人

ザヴァケファレの頭骨
モンゴル科学アカデミー古生物学研究所所蔵

世界の堅頭竜類 大集結！



バキケファロサウルス
© 工藤晃司

ホマロケファレ
© 工藤晃司

ホマロケファレ化石

アムトケファレ
© 工藤晃司

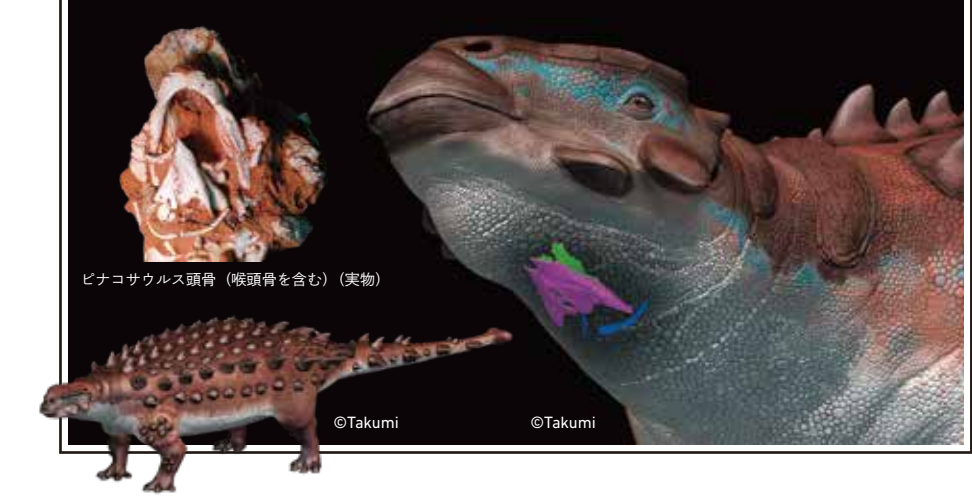
アムトケファレ化石

ゴヨケファレ
© 工藤晃司

ゴヨケファレ化石

世界初公開！ピナコサウルスの「喉」の化石

2005年にモンゴル・ゴビ砂漠で発見された、中生代・白亜紀（約8400～7200万年前）の恐竜ピナコサウルスの化石です。背中をおおう装甲板（そうこうばん）のような皮骨で身を守る四足歩行の植物食恐竜で、世界で初めて喉の化石を残した状態で見つかりました。福島県立博物館の吉田純輝学芸員らの研究グループがこれまで不明だった「喉頭（こうとう）」という気管の入り口となる器官が保存されていることを発見し、呼吸・音声に関わる器官は恐竜類（鳥類を除く）では世界で初めての発見です。



ピナコサウルス頭骨（喉頭骨を含む）（実物）

©Takumi

©Takumi

ザヴァケファレの近くに住んでいた？

チョイロドン



チョイロドン
© 工藤晃司

チョイロドン化石

世界初公開！

モンゴルで発見された竜脚類の化石

現在研究中



竜脚類恐竜化石
モンゴル科学アカデミー古生物学研究所所蔵



発掘現場

福島県産の化石たち

ヒロノリュウ

「ヒロノリュウ」は、福島県で初めて発見された恐竜化石です。1986年に当時小学生だった渡辺俊夫さんが広野町で植物食恐竜の歯の化石を発見しました。双葉層群・足沢層から発見されたこの化石には「ヒロノリュウ」の愛称がつけられました。ヒロノリュウはハドロサウルス形類で、約8900万年前に生息していました。



© 工藤晃司

ハドロサウルス上科頰椎
(福島県広野町産ヒロノリュウ)



ヒロノリュウ恐竜発掘現場写真（1986年）
根本修行氏提供

フタバリュウ

「フタバリュウ」は、ヒロノリュウと同様に、双葉層群・足沢層（ふたばそうぐん・あしざわそう）から多数の骨化石とともに発見されました。化石には「フタバリュウ」の愛称がつけられました。フタバリュウは獣脚類恐竜で、約8900万年前に生息していました。



© 工藤晃司

フタバリュウ脛骨
(広野町)

いわきコハク

福島県いわき市は、岩手県久慈市、千葉県銚子市に並び日本有数のコハク産地として知られています。コハクは植物の樹脂が化石になったものです。岩石とは異なり、コハクは白亜紀の昆虫たちを立体的な状態で保存しています。恐竜がいた時代の裸子植物（らししよくぶつ）から出た樹脂が、8500万年前の虫たちを捕らえた黄金色のタイムカプセルは、化石を通して「恐竜がいる世界」を見せてくれます。



福島県立博物館所蔵

南相馬市の植物化石

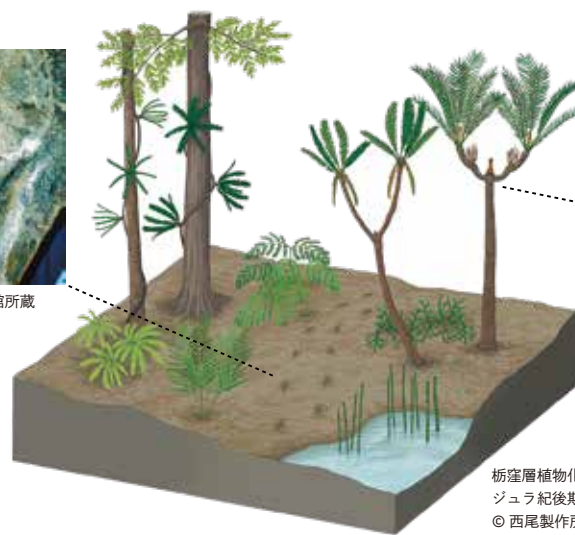
ジュラ紀の気温は現在より高く、ジュラ紀の中でも約1億8300万年前以降から温暖化がさらに強まったと考えられています。福島県からはジュラ紀後期の陸上で堆積した地層（栃窪層）が露出しており、恐竜が食べていたと考えられる植物化石が見つっています。特に福島県の植物化石の保存状態は素晴らしく、ジュラ紀後期の植物として貴重な化石群です。現在までに、シダ類、シダ種子類、トクサ、ヒカゲノカズラ、ソテツ、ベネチテス類など多様な植物類が見つっており、エラトクレイダス、ニルソニオクレイダス・ジャポニクスなどの化石植物種が知られています。

足跡化石

3本の指が残された足跡化石で、1996年に福島県で初めて見つかったジュラ紀の恐竜化石。南相馬市鹿島区に露出する相馬中村層群・栃窪層（そうまなかむらそうぐん・とちくぼそう）より発見され、約1億6000万年前にこの地域に獣脚類（じゅうきやくるい）が生息していた重要な証拠となっています。日本で2番目に古い時代から発見された恐竜化石です。



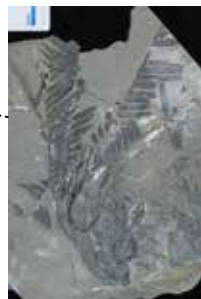
南相馬市博物館所蔵



栃窪層植物化石から復元された
ジュラ紀後期の森ジオラマ
© 西尾製作所

キムリエラ

キムリエラは、福島県南相馬市で産出したジュラ紀後期の植物化石で、2022年に命名された新種の植物化石です。常磐自動車道の建設に伴う工事により栃窪層が掘削（くっさく）され、工事関係者の協力により、多くの貴重な化石が採集されました。現在では、南相馬市はジュラ紀植物化石の一大産地となり、その研究成果は国際的な評価を得るに至っています。



南相馬市博物館所蔵

ティラノサウルスの仲間が一堂に！



ティラノサウルス
© 工藤晃司

ティラノサウルス幼体
© 工藤晃司

タルボサウルス
たんば恐竜博物館所蔵

アリオラムス
サウルス化石複製

アバラチオ
サウルス化石複製

ティラノ
サウルス

恐竜も子育て？



シチバチ
たんば恐竜博物館所蔵